

# じゃあ自転車は どう走るか

2010～2012年 そして2013年



クルマ社会を問い直す会会員

富田悦哉

自転車は気持ちいい。  
路上を滑空するように、  
どこまでも走って行けそうだ。

でも実際の道路には  
すっきりしない事々がたくさんあって、  
車道では自動車に邪魔にされ、  
歩道では歩行者を怖がらせる。  
いったいどこを走ればよいのか？

自転車は自（みずから）転（てんずる）ものだ。  
自転車を取りまく環境は雑然としているが、  
自分がどう走るかはまず自分で考えてみよう。

そのようにして道は見えてくるのではないか。  
（もしかすると自転車は、道を紡ぐこともできる道具なのかもしれない。）

## 目 次

<b>1</b>	<b>自転車走行の基本規定</b>	<b>1</b>
	道路交通法では自転車はどう走ることになっているのでしょうか。まず確認してみます。	
<b>2</b>	<b>車道走行の不安要素</b>	<b>6</b>
	とはいっても、実際の道路は自転車にとって厳しい環境です。	
<b>3</b>	<b>道路上の疑問</b>	<b>1 2</b>
	道路を安全に走行するには？ ルールどおりでは危ないという場合も？	
<b>4</b>	<b>自転車レーン</b>	<b>2 0</b>
	解決の方向は…	
<b>5</b>	<b>自転車教育と自転車団体</b>	<b>2 8</b>
	自転車乗りが自転車乗りを育てる。	
<b>6</b>	<b>その後（2010年から2013年6月まで）</b>	<b>3 3</b>
	自転車に関する政策の動向を概観してみます。	
<b>7</b>	<b>自転車に乗る気持ち</b>	<b>3 5</b>
	自分自身に言い聞かせる言葉です。	

**1**～**5**と**7**は2010年3月から2012年9月にかけてクルマ社会を問い直す会会報に連載（59～63号、69号に掲載）した文章を手直ししました。

**6**は連載以後の動向について新たに書き起こしました。

本文はおもに自転車の利用環境を解説する内容になっています。

★印の文は私が強調したい事柄や私個人の提案です。各章末に付した◇印の文も同様です。